

平成27年度 みえ熊野古道商工会地域貢献計画

みえ熊野古道商工会では小規模事業者の「経営発達支援計画に基づく事業」に着手し、「持続可能な自立的で個性豊かな地域経済社会の実現」を目標として、小規模企業振興基本計画に基づく小規模企業施策を強力に推進致します。地方創生の新たな幕開けとなる本年度、『MAKE3』を目指して、以下に掲げる事業に重点的に取り組むことにより、紀北町・御浜町の小規模事業者を中心とした中小企業振興をはじめ地域課題解決、地域のさらなる発展に貢献して参ります。

MAKE3（メイク・スリー）

1. 強い商工会づくり 2. 産業・企業づくり 3. 人・まちづくり

1. 強い商工会づくり

自己財源のUP、組織・事業強化による商工会機能のパワーアップ。

(1) 「自己財源率」のアップ

- 自立した強い商工会を目指して、引き続き自己財源のアップに努め、今年度は自己財源率 60%以上を目指します。

(2) 共済関係（ふれあい共済等）及び「商工会カード」の推進

- 新聞チラシや毎月の情報提供により積極的に加入促進を行う。
- ふれあい共済：目標加入率 350%（内 御浜支所 210%）
- 商工会カード：目標加入率 80%（内 御浜支所 70%）

(3) 「三重県商工会連合会・全国商工会連合会事業」との連携

〔三重県商工会連合会・全国商工会連合会重点事項〕

1) 小規模企業振興基本法、三重県中小企業・小規模企業振興条例を踏まえた小規模企業支援施策の強力な推進

- 小規模振興基本計画の着実な実施のための行動
- 小規模企業への実態調査
- 経営発達支援計画の全商工会早期認定
- 伴走型経営改善普及事業の推進
- 地域での小規模企業振興条例の制定に向けた要望活動の実施

2) 中小企業・小規模企業の更なる発展に向けた支援の強化

- 提案型の経営支援・巡回訪問の推進・強化
- 中小企業・小規模企業の新事業展開、経営革新、新製品・サービス開発、国内外に向けた販路開拓等各種支援の実施
- 地域経済社会を活性化させるための起業、創業、事業承継等の支援
- 中小企業・小規模企業に対する金融支援の強化

3) 商工会による地方創生への取り組み

- 地方創生先行型事業への積極的関与
- 地域消費喚起・生活支援型事業への積極的推進
- 持続可能な地域内資金循環型社会の構築

4) 会員サービスの一層の充実

- 会員の有効な情報提供
- 記帳指導等基礎的支援の強化
- 共済制度等による福利厚生充実

5) 支援体制及び組織基盤の強化

- 会員増強運動の実施
- 小規模事業者支援法の改正に対応できる支援体制の構築
- 商工会職員の資質向上
- 自主財源の確保による財政力強化（50%以上の自主財源確保）

2. 産業・企業づくり

これまでの支援・指導実績をベースに、個人レベルの向上も視野に入れた、企業や中小企業組合・各種任意団体などへの広角的な事業支援により具現化を図ります。

1. 紀勢自動車道地域振興施設「始神テラス」オープニングイベントの開催

- みえ熊野古道商工会が基金拠出して設立した「一般社団法人 みえ熊野古道 JAPAN」が、指定管理者として運営する紀北町地域振興施設「始神テラス」のオープンを祝して記念イベントを開催する。

2. 紀勢自動車道地域振興施設「始神テラス」の活用による小規模事業者支援事業の実施

- 地域振興施設「始神テラス」を核とした地域小規模事業者支援策として、具体的な出口対策である「売れたものは何か、どのようにしたら売れたか」など、直接結果に結び付く地域経済振興を図る。
- 小規模事業者をはじめとする地域の事業者や住民、そして地域全体を振興・発展させるサービスエリアとして、地域全体に誘客できる循環機能を構築する。
- 『Studio Utv』を活用し、施設や地域特産品情報を地域や地域外に向けて積極的に情報発信を行う。
- 「一般社団法人 みえ熊野古道 JAPAN」による地域振興施設『始神テラス』の運営を通じ、当地域における新たな安定的な雇用を創出するとともに、地域を担う若手人材を育成する。

3. 紀北町・御浜町プレミアム付商品券発行事業の実施〔紀北町及び御浜町・補助事業〕

（事業予算 6,350万・商工会負担金 10万・

補助金：紀北町 4,200万・御浜町 2,140万）

- 国の地域住民生活等緊急支援のための交付金～地域消費喚起・生活支援型事業による紀北町及び御浜町の補助事業として『プレミアム付商品券発行事業』を実施する。紀北町及び御浜町に所在し、地域振興に貢献する商店等において共通して使用できるプレミアム付商品券を発行することにより、地元消費の拡大、地域経済の活性化を図る。
- 使用期間：平成27年9月～12月

4. 「映像制作・配信拠点事業」の実施

- 商店や地域の魅力を撮影・編集できる情報発信基地（スタジオ）により、インターネットを活用することで全国に発信していく。
- Googleがインターネットを通じて提供している地図や衛星写真から路上風景のパノラマ写真等を見ることができWebサービス「Googleストリートビュー」を、Googleからの委託によって世界遺産熊野古道の撮影を行う。
- USTREAM Asia公認「USTREAM STUDIO+ MIE KUMANOKODO」の運営。
- USTREAMスタジオとして、インターネット販売・通販システム等の各種事業を創作する。

5. 「みえ熊野古道商工会大感謝フェア」の実施

- 消費者の町外流出を防ぎ新たな町内消費の拡充に繋げるため、大感謝フェアを実施する。
- 実施期間：平成27年9月～12月
- 目標町内消費額：3億円
- 目標参加店数：200店

6. 「第15回MIHAMA商工会サミット事業」の実施

- 三重県、愛知県、福井県、和歌山県の“MIHAMA（美浜、御浜）”とつく商工会と行政が一堂に会し、情報交換、交流を図ることで商工会の活性化と産業振興に繋げるため、毎年開催地を変え実施する。（本年度開催地：福井県）

7. 「四季・感動」定点写真撮影フォローアップ事業

- これまで集約した画像に加え、新しく更新するものや新しい観点からの写真を継続して追

加撮影する。また「東紀州フォトコンテスト」を開催し、新画像を幅広く募集する。

○フォトコンテスト受賞者の作品を商工会館内に展示し、来訪者等へ東紀州地域の魅力をアピールする。

○インターネットスタジオ『Studio Utv』や商工会ホームページから「東紀州フォトコンテスト」受賞作品等の東紀州「四季・感動」画像を発信。

○「名物のぼり」「名物かわら版」「クーポン付フリーペーパー」「一畳敷マップ」や「横断幕・ラベル・パンフレット」等の作成用に画像を提供するとともに、観光情報誌、旅行雑誌等への写真提供や貸し出しについても積極的な対応を行う。

8. 「みえ熊野古道ブランド化・ものづくり事業」の実施と

「みえ熊野古道商工会ホームページ」の活用

○地域の1次産業、2次産業、3次産業が一体となり、地域力を生み出す農商工連携スタイルによる、“みえ熊野古道”ブランド商品を開発する。

○販促のぼり、一畳敷きマップの製作及び名物かわら版、クーポン付フリーペーパー「L(エル)」の発行など、「地域の名物おこし・名物づくり事業」を実施し、“みえ熊野古道”のブランド化を実現する。

○“みえ熊野古道”のブランディングを図るため運用規定を実施する。

○「みえ熊野古道商工会ホームページ」をポータルサイトとして商工会事業や小規模事業者の情報発信を行う。

○事業所ホームページとのリンクや『映像制作・配信拠点事業』による映像配信等を行う。

○各分野の専門家等によりツールデザイン、ロゴデザイン、パッケージデザイン・規格、キャッチコピー等を決定する。

○首都圏営業拠点『三重テラス』での“みえ熊野古道”ブランド発信により『地域と都市の交流・交易』を促進する。

9. 「やる気のある小規模事業者への支援事業」の実施

○経営発達支援計画に基づき「経営状況の分析に関すること」「市場調査支援・経済動向の把握に関すること」「事業計画策定・実施支援に関すること」「新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること」の4事業を実施し、小規模事業者の技術向上、新たな事業分野の開拓など小規模事業者の持続的発展を図る。

○経営革新計画の申請・認定、また各種助成金の獲得に向け採択を受けられるよう経営指導員が中心になり積極的に支援及び助言を行う。

○経営課題の解決に向けた取り組みについては、地域インストラクターと経営指導員がタッグを組み小規模事業者の挑戦を強力にバックアップする。

○「三重県版経営向上計画」の計画を促進し、認定に向けた取り組みを行い企業の成長と経済の活性化を図る。

○地域の特産品開発については、複数市町が連携しマーケティングを活用した特産品開発事業を支援する。販路開拓等を支援する「小規模事業者持続化補助金」の活用を積極的に促すとともに、申請から採択まで商工会が全面的にバックアップを行う。

○地域コミュニティ支援事業として芸術村等、活力ある地域社会づくりに向けての活動に各種地域団体や企業等、多様な主体が地域社会の将来像を共有しながらそれぞれの特性を発揮し、地域における様々な地域課題に取り組めるよう、自律的な地域運営の仕組みづくりを支援していく。

10. 「外国人技能実習生共同受入事業」の実施

○本年度より年2回の受け入れを開始。

(1)平成28年3月～第15期生技能実習生(中国)の受け入れ

(2)平成27年9月～第1期生技能実習生(ベトナム)の受け入れ

(3)平成28年3月～第2期生技能実習生(ベトナム)の受け入れ

(4)在留資格変更・延長・帰国手続き等に関する監理事務

(5)技能実習生、実習実施機関に対する指導及び監理

- (6) 技能実習生の日本語検定受験に関する支援
- (7) 技能実習生の健康・生活全般等に関する支援

11. 「地域通貨熊野古道カード推進事業」の実施

- 地域通貨“熊野古道カード”としてのカード加入者へのプレミアムイベントの企画・運営。
- 現行の“熊野古道カード”を新カードへと移行。
- ZTVへのCM広告による加盟店イベント等の情報発信。
- 地域振興施設「始神テラス」にて“熊野古道カード”の普及促進。
- 「みえ熊野古道商工会大感謝フェア」の連携事業。
- 加盟店への打点促進のための巡回。
- 各種イベント及び情報提供事業等の実施。
- 新規加盟店促進：30店／現在加盟店数64店

3. 人・まちづくり

行政や地域との連携を深め、各種事業に伴う広報活動や集客交流の機会を活かしたPRなどにより、地域住民の参加を喚起し、地域企業だけでなく地域住民を含めた地域づくり。商工会職員の自己啓蒙・啓発による専門スタッフ化。

1) 巡回・訪問による月刊「商工会」の情報提供及び「スタッフづくり事業」の実施

- 月刊「商工会」及び各種施策等の情報を経営支援ツールとして7種類以上用意し、毎月巡回・訪問により情報提供し、面談での相談を実施する。（年間延べ12,000会員）
- 月刊「商工会」及び各種情報の行政関係、金融機関、郵便局、漁協、学校、病院等への配布。（年間延べ870ヶ所）
- 地域の商工情報誌「春夏Shu冬」を発行し、全戸配布及び各集客施設等で提供し広く情報発信を行う。
- 商工会職員は専門家派遣事業、各種講習会を計画・立案すると共に、具体的な現場指導及び実践的な経営者の講習会等により知識を高め職員資質の向上に努める。

2) 「健康維持増進事業」（健康診断）の実施

- 会員事業所の従業員とその家族の福利を充実させるべく、労働局の規定する検査項目に対応した健康診断を四日市羽津医療センターのご協力により検診車にて実施。
- 受診者：350名
- 場 所：紀伊長島区（みえ熊野古道商工会）、海山区（紀北教育会館）、御浜町（道の駅パーク七里御浜）

3) 「東紀州商工会広域連合事業」との積極的連携

- “東紀州はひとつ”のスローガンのもと東紀州地域のがんばる事業者に対して、「三重県小規模補助金事業」と「消費税転嫁対策相談事業」により専門家派遣事業を実施する。さらにリーガルサポート事業により事業者の経営に関する悩みや課題を解決する。
- 小規模事業者・中小企業者等の経営改善と経営の安定を図るため「三重県版経営向上計画」の認定支援、「小規模事業者持続化補助金」の周知徹底を行い事業への取り組みを促進させる。
- 「広域連携地域活性化事業」として東紀州地域の各商工会で実施する各種事業について連携を図るとともに「三重・東紀州の逸品」として今年度も「伊勢神宮奉納」を実施する。また、「三重テラスでのイベント」「広域親睦チャリティーゴルフ大会」「青年部・女性部若手後継者等育成事業」等、これらの事業にも各商工会が連携して協力を行い実施する。
- 専門家派遣等実戦的支援を通じてOJT(On the Job Training)教育に取り組み、商工会職員の不足するスキルを補填し、職員の資質向上と全体のスキルアップを図る。